

理事長挨拶

日本人間関係学会
理事長 山本克司

日本人間関係学会第27回大会が、日本医療科学大学で開催されるにあたり、関係の皆様
に衷心よりお礼申し上げます。特に、開催校の皆様にはご準備に格別のご高配を賜り、厚
くお礼申し上げます。

本学会は、「人間関係」を学際的に研究する学会です。会員の研究分野は、医療、教育、
福祉、心理学、文学、法学など多方面にわたっています。また、研究者のみならず、各方
面の実務に従事する方も多数いらっしゃいます。このように、自己の研究分野とは異なる
研究者と実務家が互いに社会におけるよりよき「人間関係」の構築を目指して切磋琢磨し
合う日本人間関係学会の存在意義は大きいものがあります。

ところで、現在学会は、様々な面で岐路に立っています。これから、本学会の設立趣旨
に立ち返り、学会の健全化と会員各位の自己実現が図れる組織づくりを目指さなければな
りません。今回の学会を通して、会員各位には、もう一度、初心に帰って学会の意義と自
身の学会活動の意義を考えていただきたく存じます。

本学会は、これから大きく飛躍する可能性を秘めています。社会資源と連携すれば、学
会活動は無限の可能性をもつことができます。会員各位の専門性を活かせば、地方自治体、
企業、教育委員会、学校、社会福祉協議会、社会福祉施設、医療施設などと様々な連携が
可能となり、会員の皆様の活躍の場が広がります。

学会は、会員の皆様一人ひとりのものです。学会は、会員の最大の利益を目指さなけれ
ばなりません。そして、学会の存在意義は、会員の皆様の活動を通して、社会活動に奉仕
することにあります。そのために、大会を通して各分野の研究者、実務家の会員が交流し、
忌憚のない意見交換をする必要があります。第27回日本人間関係学会は、これからの学会
の発展を見直す重要な学会です。会員各位が多方面の研究や実践報告を学ぶことにより、
知見と研鑽を深めていただければ、幸甚に存じます。